

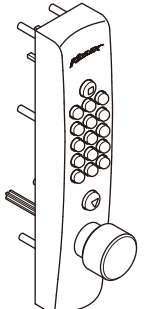
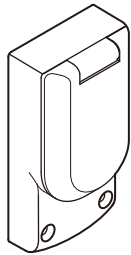
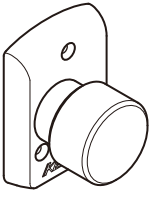
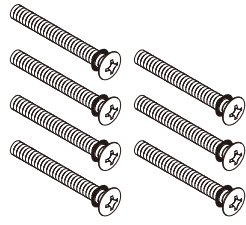
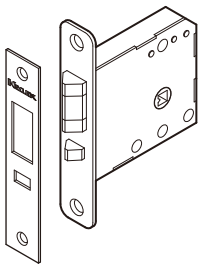
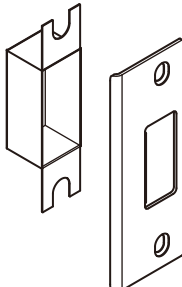


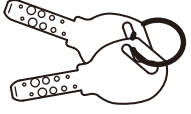
## ノブ自動施錠 取付説明書

— K403C, K403CM, K403CD —  
— K403P, K403PM, K403PD —

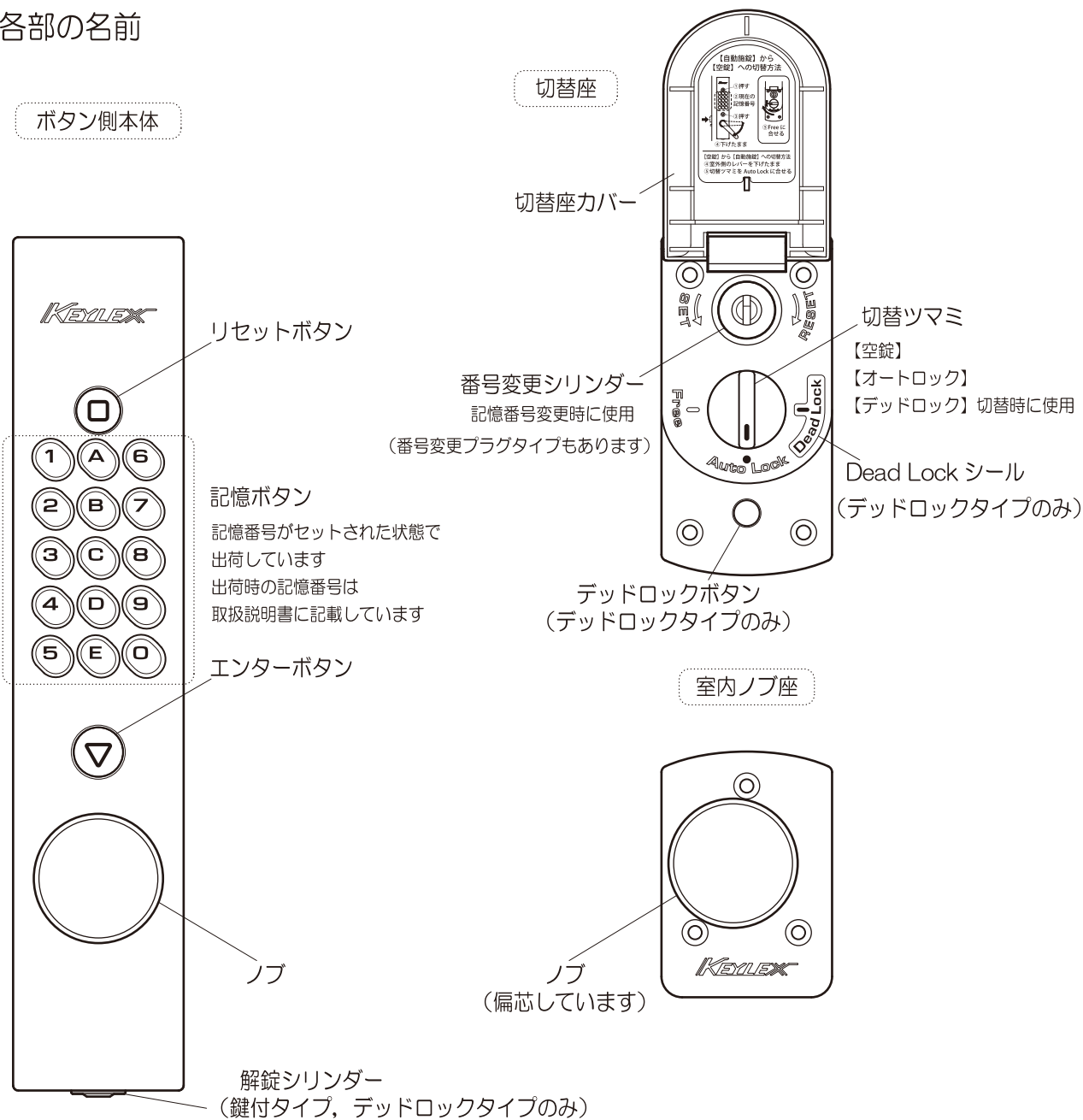


このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。  
製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。  
引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。  
締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

|  |   |   |  |   |  |   |   |   |
|--|---|---|--|---|--|---|---|---|
| <br>① ボタン側本体<br>1 | <br>② 切替座<br>1 | <br>③ 室内ノブ座<br>1 | <br>④ 本体固定ねじ<br>長さ 40 mm 7 | <br>⑤ 錠 set<br>1 | <br>⑥ 受座 set<br>1 | <br>⑦ 錠・受座取付ねじ<br>長さ 25 mm 4 | <br>⑧ 取扱説明書 set<br>1 | <br>⑨ キー（Hに同梱）<br>（K403C, K403P にはない）<br>2 |
|--|---|---|--|---|--|---|---|---|

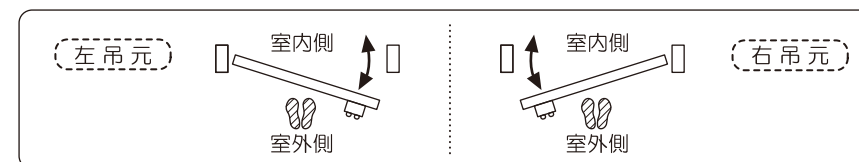
## 1 各部の名前



## 2 取付前の準備：⑤作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください（クサビ等で扉を固定するとよい）

扉の吊元の確認

ボタン側本体から見て、扉の丁番が右か左のどちらについているかで判断します。



## 3 扉への取り付け穴加工

① ボタン側本体・⑤錠 set・⑥受座 set の取り付け穴加工をします（別紙切欠図参照）。

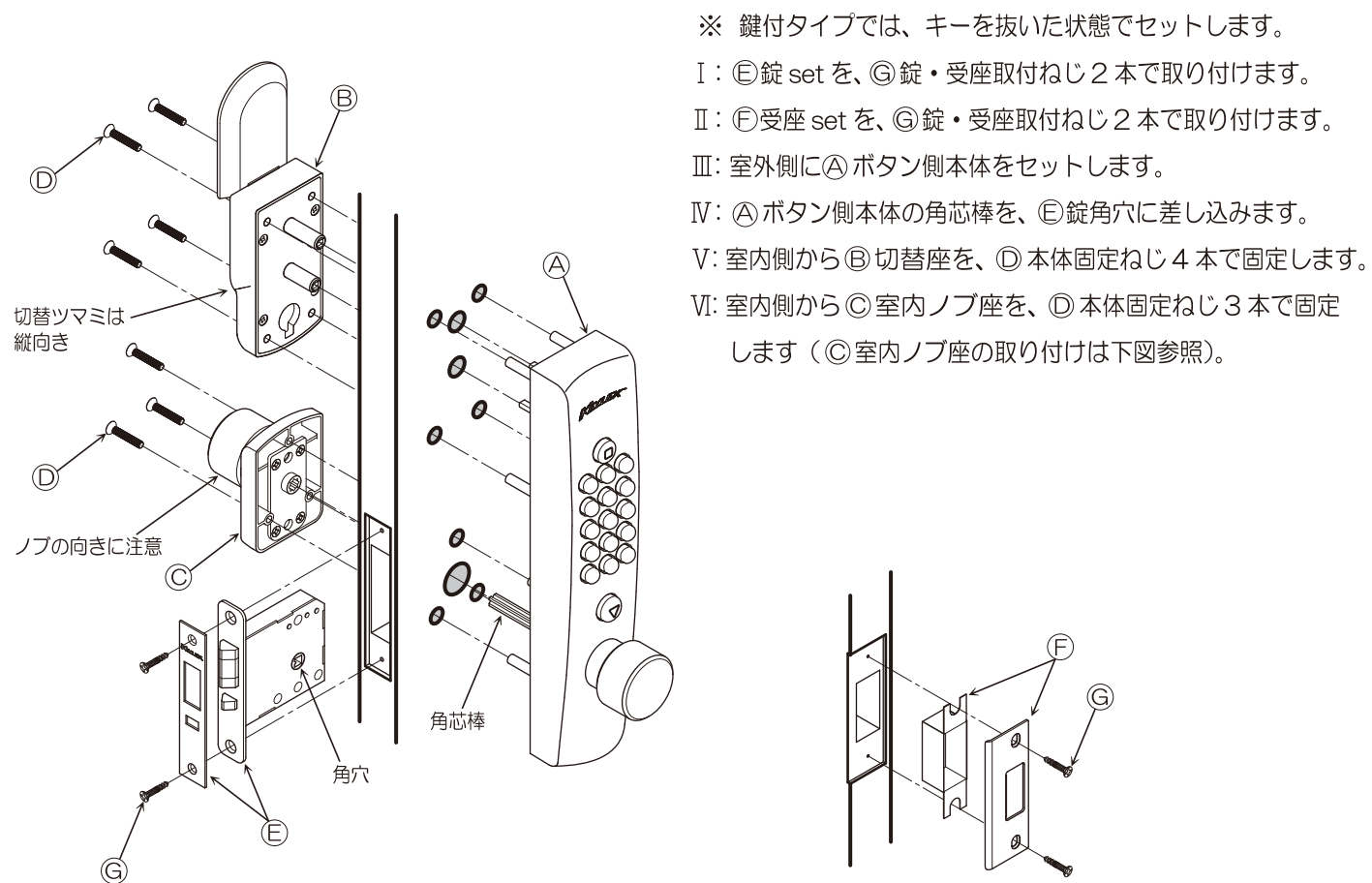
NAGASAWA

株式会社 長沢製作所

www.nagasawa-mfg.co.jp

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)  
FAX. 03-5967-3103 FAX. 06-6783-5092

#### 4 箱錠・受座・キーレックス 4000 の取り付け

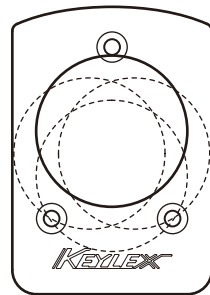


- ※ 鍵付タイプでは、キーを抜いた状態でセットします。
- I: ㊸錠 set を、㊹錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます。
- II: ㊺受座 set を、㊹錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます。
- III: 室外側に㊻ボタン側本体をセットします。
- IV: ㊻ボタン側本体の角芯棒を、㊸錠角穴に差し込みます。
- V: 室内側から㊼切替座を、㊸本体固定ねじ 4 本で固定します。
- VI: 室内側から㊽室内ノブ座を、㊸本体固定ねじ 3 本で固定します (㊾室内ノブ座の取り付けは下図参照)。

本図は右吊元仕様です。左吊元は対称です。

#### 【室内ノブ座】取り付け時の位置

【取り付け前のノブの動き】

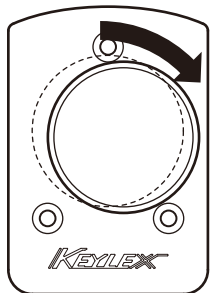


ノブは図のような動きで回転します

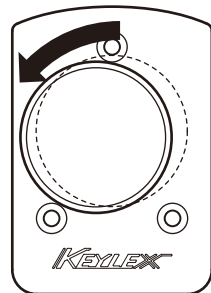
左吊元

右吊元

ノブが一番上になった所から右(丁番側)に45度傾けた位置で取り付けます



ノブが一番上になった所から左(丁番側)に45度傾けた位置で取り付けます



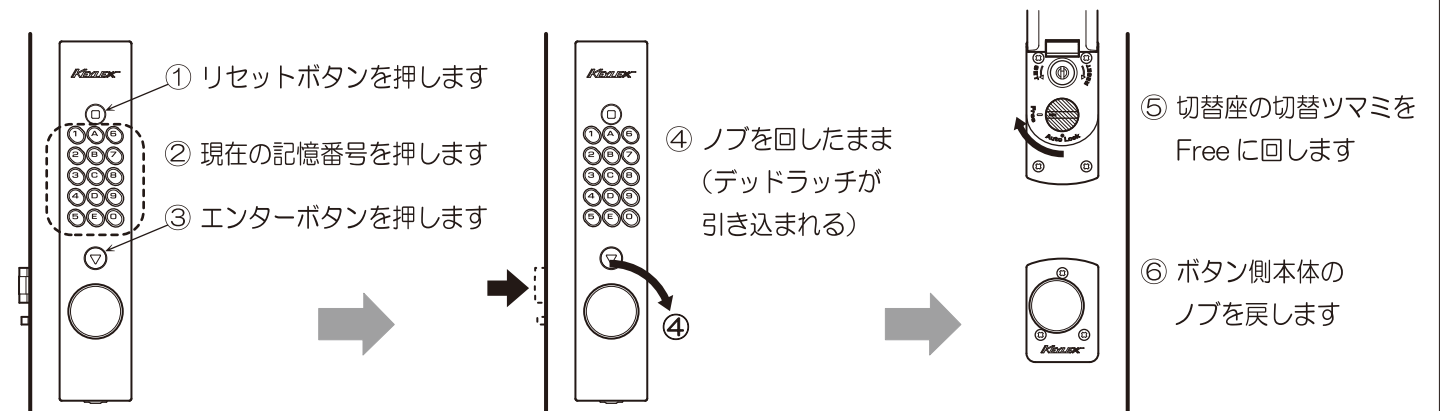
#### 5 作動確認: レバーハンドルが作動しない場合は、②③④をもう一度確認してください。

| 室内側       |                                  | 室外側       |   |
|-----------|----------------------------------|-----------|---|
| <b>解錠</b> | ① ノブ操作で解錠できます                    | <b>解錠</b> | ① リセットボタンを押します<br>(誤操作の記憶番号が解除されます)<br>② 現在の記憶番号を押します<br>③ エンターボタンを押します<br>(正しい記憶番号を押すとボタンが押されたまま止まります)<br>④ ノブ操作で解錠できます<br>(エンターボタンは元の位置に戻る)<br>※ ボタンを押しながらノブ操作をしないでください |
| <b>施錠</b> | ① 扉を閉めると、自動で施錠されます (Auto Lock 時) | <b>施錠</b> | ① 扉を閉めると、自動で施錠されます (Auto Lock 時)  |

鍵付タイプの場合は、ボタン操作を行わずに、キー操作でも解錠できます。  
解錠: ① 解錠シリンダーにキーを入れて回したまま、ノブで扉を開けます。

#### 【空錠】への切り替え

扉を閉めても、鍵がかからない状態【空錠】にすることができます (Auto Lock から Free) 扉を開けた状態で操作します



【空錠】Free から【自動施錠】Auto Lock へは、ボタン側本体のノブを回したまま、切替座の切替ツマミを Auto Lock に回します

#### 【デッドロック】への切り替え

解錠を解錠シリンダーのキー操作のみにする機能です

記憶ボタンによる解錠機能を【使用不可能】にすることで、解錠できる人員を限定でき出入りを制限したい場所などに有効です。



【デッドロック】から【自動施錠】へは、切替座の切替ツマミを Dead Lock → Auto Lock へ回す (デッドロックボタンは押さない)

⚠ 室外側からはキーがないと解錠できませんので、デッドロック時は必ずキーをお持ちください